



書家 加藤裕さん作 『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺

〒460-0007
名古屋市中区新栄1-4-6
Tel 052-241-5231
fax 052-241-5231
Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

いま不思議ないのちを生きている!



お陰様で新しい年を迎えることができ感謝しています。

戦後、先祖の方々が、平等に差別なく、暮らしても豊かにしようとする努力が進められた結果、生活も一段と進歩し、便利で物質的に恵まれた時代となりました。しかしながら一昨年の公募文字『鶴』のごとく、人の思いや考えが変化してきています。自然に対する畏敬の念が失われ、知識により、自然を征服し、環境破壊の道を進んでいきます。動物、植物は環境に適応して生きる知恵をもつているようにみえます。土壌においてもミミズ、微生物、菌類のおかげで豊かな土地となり、農作物に豊かな実りをもたらしています。ところが、人は米、肉、うなぎ、タケノコなど生きる為にも最も必要な食物に対して偽装を行い、止まるどころを知らない人間の欲望がありありと見えます。競争に勝つためには、何をしてもいいという考えが人の心を失い、弱肉強食の人間社会にしてしまいました。

アマゾンやアフリカの原住民は、今日一日足るだけの生活をし、親子の絆があり、互いを助け合っています。このような生活に、昔の日本が想いだされます。現代では、人があらゆる進歩において、欲することはなかり構わず、あたかも当り前のようになり、自分さえよければ良い風潮になっていきます。知足、足ることを知るによって人間らしい人間になつて行くのであつて、昨今は人間であることを失つているのであろうと思えます。これを仏教でいう「空智」すなわち法の真理にとつて代わつたものが執着、貪欲と呼び、お経に説かれている五濁悪世の世界であります。

アメリカVSイラクの戦争で罪のない両国民が深く傷つきました。また世界的な経済の乱れが、大きな不安をもたされました。アメリカでは、『CHANGE!』を合言葉に次期大統領が決まり、

様々な反省が生まれています。近来、科学の発達により、知性、理性が先行して、人間の愚かさ、気付かず、科学がどんどん進歩しました。知らない間に人が追い込まれていくことに気付かず、少しずつ反省しているように思われます。また、自然と人間を区別してきたものが自然のリズムに合わせようと、人間を元の状態に戻そうとする反省もあるようです。人間は一人生きれるものではない、大との間」という繋がりを持つことで初めて人間として生きることができるとはいえのでしょうか。今までしてきたことを反省し、人と人が敬いあえる社会になるには、いま自分が変わっていくことが大事なことでありましょう。よつと昨年を表す一文字「変」とは経済の不況を変える反省でなくして、そういう科学、経済、文化を創り出した知性、理性でなんでもわかっているつもり、奥に潜む人間の愚かさ、気付かぬばならないと思えます。

先人の方々が人の欲望のきりのないことを示し、道を教えてくださっています。『国訳一切経』に「佛法の力によつて国家の平安を実現すべき国王のあるべき姿が説かれ、その反面正しい佛法の信仰が失われると、思いもよらぬ災難が襲つて、国家は滅亡の運命をひた走る」と語られています。お釈迦様が「未来を知るには、現在を知れ、今を知るには過去を知れ」と結ばれています。今年も皆様与えられた家族、環境を生き延び、この不思議さに感謝し歩んでまいりましょう。

今年も五年であります。牛の如く、食べた物を聞かせて頂いた佛法を反芻し、よく噛み砕き、ゆつくりと味わいたいものであります。

久遠寺住職 高山元智 合掌

法を感ずる!



親鸞聖人

大師 法然(聖人のみ教えの恩徳のおもきことをしりて骨を粉にしても報ずべしとなり 身を砕きても恩徳をむくべしとなり

尊号真像銘文』

仏法を聞いて、いい話だったと理解するのでなく、そこから立ち上がり問い続けていくことが大事であります。

表紙 如來大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

法語は、親鸞聖人著『帖和讃』から選ばれました。浄土和讃「高僧和讃」正像末和讃の三部からなり、その数は、350首を超えます。全ての人々にわかるように和文で表されています。

「恩」という時は、「因」と「心」の二文字が合わさって作られています。因は大きな敷物の上に、人が大の字になつてゐる姿です。大の字になつて寝ることができたのは、その敷物の御陰である、と感動した心を恩という字で表しています。最近「恩」という言葉はあまり使わなくなり、恩を感じる感性が失われて、同時に、親子や師弟の関係が希薄になつてゐるよう感じます。

一月

光明をばらして ほがらかに

さらぬところば さらにも

光明とは、仏様の智慧であり、私たちが何でもわかっているつもりでいることが、実は闇で、そのわかたつてもりである人間の闇を照らしてくださる智慧の光が光明であります。その言葉は、人間の愚かさを知らせ、豊かな心になるように、願われ、そこで自覚めた者は、何ものにも囚われることなく、自身の愚かさを持ちつつ、明るく歩ませてください、だくことができるでしょう。

二月

信心すべし えんひん

仏恩報ずべし

信心とは、自分自身の思い自分の都合で生きている人間に人生で一番尊いものはなんですかと問われることであり、

私にとつて、本当の尊き事は何であるかと云われた時、無意識のうちに自分自身を本尊として生きて、いるのではないのでしょうか。現代でいいですと、まず経済 健康を優先し、それを頼りとして考えているのではないのでしょうか。自分の能力 体力に限界を知った時、尊く豊かな心で後悔のない人生を教えてください。それが、まかす心(信)であります。そのまかす心で教えるに遇わせて頂いたとき、ご恩として喜ばずにおれない、本当の尊き事柄に遇えたことでありましょう。



三月

念仏成仏 真宗

万行諸善 此れ仮門

真宗門徒にとつて、根本で究極の教えを表しています。先祖が真宗であるから真宗門徒でなくして、念仏とは真理を振り所として生きていくところに、本当の人間として完成され、実り 充実した歩みを目覚めさせる事が真を要として生きる事でそれが真宗であります。政治・宗門でいうセクト(党派 各派)ではありません。万行諸善は、自分を頼りとし、思い通りに生き、自分の力を誇りとし、いろんな善根を積み、自分で生きているつもり、の自身家をいいます。また、人間のおごり、高慢の心を目覚めさせ真理を振り所としての道に帰さんが為の仮に設けてくださった入口(仮門)であるという意味でもあります。出逢い(仏法の縁)によつて心が聞け、本当の人間になる為の道こそ念仏成仏であり、それが真の要(宗)である。自我を満足させるためだけに生きている人間への問いかけであります。

最近感じたこと

中村区 いろいろ学んだオバサンより

十月九日、赤い羽根共同募金運動に十名ほどで参加しました。十時から十二時位までの予定で街頭募金をすべく一班はメルケ付近に、私たち二班は名鉄百貨店前に立ちました。募金箱を持つ人は三人、赤い羽根を渡す人は二人です。主催は、民間社会福祉事業共同募金委員会です。さあ、十時になりました。『赤い羽根共同募金にご協力お願いいたしますっ！』皆で一斉に大声を張り上げ呼びかけました。前を通る人たちは、皆知らぬふりです。十分経ちました。誰も募金箱にお金を入れてくれません。三十分経ちました。私たち目が合うと、そそくさと通り過ぎていきます。四十分経ちました。三つの募金箱に呼び水となるようにバラバラと入れました。その時です。若いお母さんとおばあさんが、小さな子供さん二人にお金を持たせて私たちの前に来てくれました。立っていは届かないのでしゃがみました。初めて入れてくれたのが小さな天使でした。しばらくするとお兄さんが千円入れてくれました。お金をもっていそうな中年のおじさんおばあさんは知らぬふりです。特に高級な服を着ている人ほど知らぬ顔で行き過ぎます。一時間が経ちました。全然お金が入りません。場所を百貨店の前から信道を渡って北の方へ移動しました。そうしたらポツポツとお金が入りだしました。老夫婦の方、一見日雇い風の方、イケメンのお兄さん、おばあさんと一緒のお孫さんが入れてくれました。三十分経ちました。全然入らなくなりました。『もうやめようか』と社会事業団の人が言った時です。男の子二人、女の子二人のヤンキーらしい四人組が私たちの前に来ました。男の子は千円、女の子は五百円ずつ募金箱に入れてくれました。そして箱の前を離れる時に私たちに向かって『頑張ってください！』と励ましてくれました。思ってもみなかった言葉に、私たちは感動して泣きそうになりました。人は見掛けで判断してはいけない、世の中まだまだ捨てたものじゃないと実感した瞬間でした。それにしては、子供の頃から募金箱にお金を入れることを教えられて言った子供たちは、大きくなっても抵抗なく入れられるし、思いやりや優しさを教わらずに育った大人は、知らぬふりして通り過ぎてゆく、そんな人たちが多くなった気がしません。家庭での道徳教育の大切さを強く感じた半日でした。

仏教クイズ

あなたはいくつ答えられる？！

- ◎お釈迦様が生まれた日は？
1 4/8 2 5/21 3 2/11
- ◎お釈迦様が生まれた場所は？
1 メッカ 2 京都 3 中国
3 ルンビニー園 5 祇園精舎
- ◎お釈迦様の誕生を祝うまつりは？
1 祇園まつり 2 盆踊り
3 花まつり 4 除夜の鐘
- ◎お釈迦様は何を説かれた？
1 イスラム教 2 仏教 3 儒教
4 キリスト教 5 ヒンズー教
- ◎世界三大宗教ではないものは？
1 キリスト教 2 ゴロアスター教
3 仏教 4 イスラム教

答えは次号で！！

長編連載 支え合い

昭和区 久遠寺檀家の一員さん

この世に何一つ意思を持たず、オギャーと生誕してからの人生は一人として同じ境遇を歩むことは不可能だと思えます。生まれながらにして「蝶よ花よ」と育てられる子供、普通に育てられる子供、虐待を受けながらも育つ子供等々、いろいろありましようが、自らの意思では選択出来ないのが現世でしょう。その後は、親の養育次第では成長して行く過程で、自身の努力と向上心がその後の人生を大きく作っていくのではないのでしょうか。昔の賢人が申しました。『この世はわからぬことばかりと。まことにその通りです。人と云う字は、支え合って初めて成り立つもので今世一人一人では立ちいかぬものと。過去の教訓が暗示している通りです。一連を申せば遠くの親戚より近くの他人と申しますように、隣近所とは親密に仲良く付き合ってください。和も和ぬがるものと思われれます。最近では昼間でも戸締りをする家庭が増え、回覧板も郵便受に差し込んである状況をよく目にします。世の中も随分変化したもので。……次号へ続く……』

今年もいっばい頂きぞうした！
有難う御座います！！



北区
大橋和子さん



東区
矢島昭夫さん



北区
秋田晃男さん



南区
吉井直子さん



南区
吉井直子さん

※お寺で大切に飾ってあります。是非ご覧くださいね。

恒例の集合写真。毎年アングル変更の予定です。是非、来年も参詣していただき、集合写真を撮りましょう！



皆様寒い中での参り、有難う御座いました！

平成21年1月15日に高田本山専修寺に久遠寺檀信徒の皆様とお参りに行ってきました。今年で2回目の団体参詣でしたが、天気もよく、御影堂の荘厳な空間の中でお念仏を称え、手を合わせる事ができました。常磐井轡猷ご法主のお話には、堂内全員が静かに聴聞しておりました。またこのようなご法縁を結んでいきたいと思えます。

高田本山に
行ってきました！

ご本山涅槃園
写経奉納御礼
(お順)

- 安藤 忠夫さん
- 伊野 紀彦さん
- 大脇 政子さん
- 大脇 正義さん
- 清水 栄子さん
- 竹森千鶴子さん
- 三輪田治朗さん
- 吉井 直子さん

編集日誌

新年を迎え、気持ち新たに寺報をリニューアルしました。寺報はもちろぬ学ぶ為のものですが、難しくても、字ばかりでもなかなか読めないものです。他寺寺報やホームページなど参考にし、どうしたらもっと楽しく仏教を学べるかをもう一度考え直そうと再出発いたします。これも皆様の協力なしでは非常に薄いものとなってしまいます。是非、皆様が興味をもたれていることをお教えください。皆様とともに、日々あることに感謝し、手が合わるようにと願いをこめて、宜しくお願致します。

南无阿弥陀仏
衆徒 高山信雄

今後の予定

3月16日 午後1:30~	3月20日 午前8:30~	2月20日 午後1:30~	2月14日 ~2月16日
阿弥陀経に聞く 第26回法話会	春彼岸 お墓参り	阿弥陀経に聞く 第25回法話会	高田本山専修寺 名古屋別院報恩講
久遠寺本堂	平和公園	久遠寺本堂	専修寺名古屋別院

是非皆様お揃いで、参詣ください。

— お知らせ —

◎お経本は床に置かないで下さい。
◎随時、皆様の寺報記事を募集しています。ご連絡ください。